

h1: ドキュメントの標題

ノン・コーダーのための、Marpスライド サンプル集

2022-mm-dd
AAAAAAAAA Inc.

このページは <!-- _class: gaia lead -->

典型的なスライドの例



xxxxxxx株式会社

T冬の学校 2022

2022-mm-24 & 25

AAAAAAA Inc.

目次

- 時間割・資料一覧
- 開校式
- ステップ2 | 重要度の評価
- ステップ3 | シナリオ群の定義
- ステップ4 | 事業インパクト評価
- ステップ5 | 対応策の定義
- ステップ0 | シナリオ分析をはじめるにあたって
- 閉校式
- 付録

※印刷配布は抜粋版です

資料全体は共有フォルダに格納いたします

グランドルール

Don'ts - これはやめてください

- **短時間集中型**で行いますので、メールや電話、内職はご遠慮ください
- やむを得ず受電・架電される場合、**室外**でお願いします



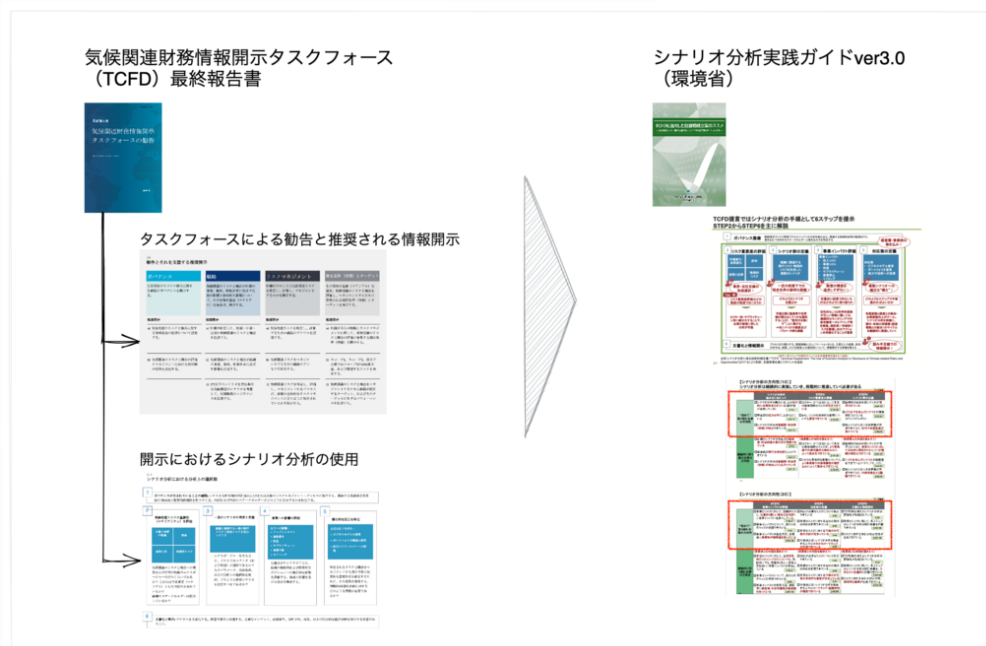
Dos - これはOKです

- 質問は随時OK
- あめ、ガム、飲み物などの軽食はOK
- 写真撮影は随時OK

レクチャー01 シナリオ分析と気候関連財務情報開示

まずTCFD提言があり、その参考書（実践ガイド）を環境省が発行

TCFDは提言で「情報開示とそのためのシナリオ分析」を求めている。しかし簡単ではないので、環境省が具体的な手順を発行



出所：TCFD, 最終報告書 気候関連財務情報開示タスクフォースの勧告（2017）

環境省, TCFDを活用した経営戦略立案のススメ（2021）

演習06 4°C/2°C@2050の定性的な予測(前半)

アウトプットイメージ

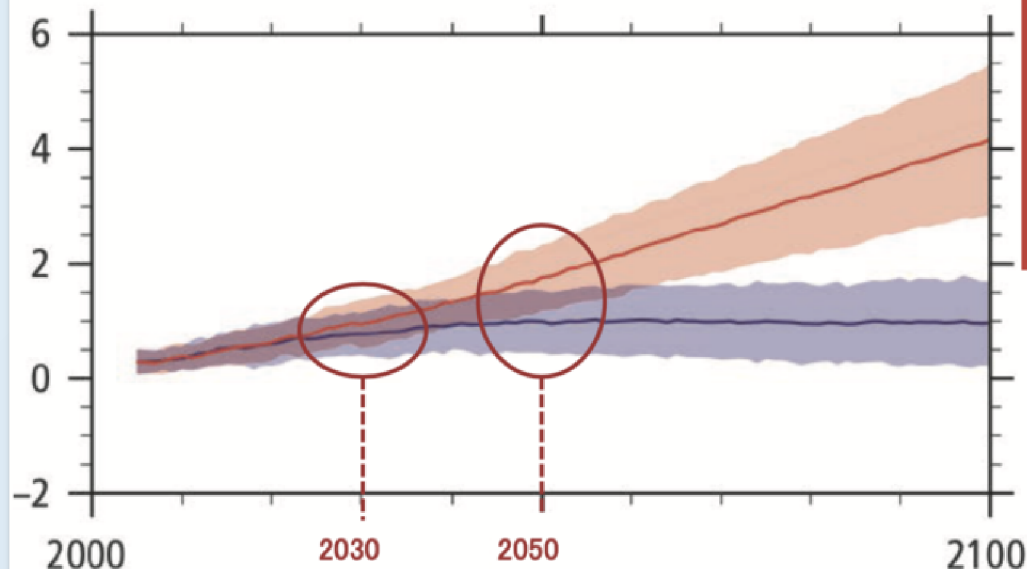
中分類	小分類	現在	4°C (2050年)	2°C (2050年)	出所
XXXX	XXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXX
XXXX	XXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXX
XXXX	XXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXX

ワーク(40分)

1. 小分類の右側に、**現在** **4°C** **2°C** **出所** 欄を作成ください
2. 小分類単位で調査担当を決めてください（各人1項目）
→ レクチャー07をはさみます
3. **現在** および2050年（**4°C** / **2°C**）がどうなっているかと **出所** を記入ください

ご参考：複数の温度帯シナリオの説明でよく見かける図

【世界平均地上気温変化予測】
(1986～2005年平均との差)



- ✓ 2030年までには、2°C、4°Cシナリオではほぼ同様な気温変化が発生し、2030年以降シナリオ間の差が拡大
- ✓ シナリオ分析で選択した時間軸ごとに、2050年の脱炭素を見据えた適切なトランジション(移行)のパスを描くことが重要

— 4°C(2.7°C～)シナリオとして定義 —

4°Cシナリオ：

現状を上回る温暖化対策をとらなければ、産業革命時期比で3.2～5.4°C上昇

2°C以上(2.7°C～4°C)シナリオ：

現状を上回る温暖化対策をとらなければ、産業革命時期比で2.7～4.0°C上昇

2°Cシナリオ：

厳しい対策をとれば、産業革命時期比で0.9～2.3°C上昇

(参考)1.5°Cシナリオ：

抜本的なシステム移行が達成された場合、高い確率で産業革命時期比で1.5°C未満の上昇

TCFD提言でのシナリオ分析では2°C以下を含む複数の温度帯シナリオの選択を示唆

出所：環境省、TCFDを活用した経営戦略立案のススメ（2021）

サンプルコード集

h2: ドキュメントの中表紙

標題は、見出しレベル1で、
中表紙は、見出しレベル2で、
各スライドのタイトルは、見出しレベル3で
表現することを想定しています

このページは `<!-- _class: inside-title lead -->`

h3: スライドのタイトル

code: スライドのキーメッセージ→ひと通りワンスライドに盛り込んでみた

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ

- 箇条書き1、イタリックは赤字にならない、**強調箇所は赤字**になる
 - 小項目1、pre: カギカッコで括る代わりに利用 (*1)

*1 footnote: 注釈を書くために利用

	列A（左寄せ）	列B（センタリング）	列C（右寄せ）
行1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
行2	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX

> blockquote。補足コメントや覚え書きとして利用

出所：著者1・著者2，書籍タイトル（yyyy），出版社

h3: 見出しレベル3

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市。

h4: 見出しレベル4

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市。

h5: 見出しレベル5

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市。

h6: 見出しレベル6

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市。

画像挿入の標準パターン

キーメッセージがここにある想定

補足テキストがここにある想定



画像挿入の別のパターン

背景に画像を貼ることもできます

- 左右分割、上下分割など、様々なレイアウトパターンがあります
- 画像に対してフィルタをかけることもできます
- 詳しくは公式ドキュメントをご参照ください
 - <https://marpit.marp.app/image-syntax>

出所の表記

出所の表記を統一したく、`<cite>`タグを追加しました

書く内容は、 Author, Title (year) , Publisher の並びを想定しています

出所：著者 1 ・ 著者 2 , 書籍タイトル (yyyy) , 出版社

出所：ウェブサイトのタイトル,

<https://www.aaaaa.jp/bbbbbbbbbb/ccccccccc/ddddddddd>

【参考】スライド

参考スライドを挿入できると、実用的にはけっこう嬉しいです

本筋から少し脇にそれてしまうけれども、Appendixまで先送りせずに、本編の脇あたりに配置しておきたいスライドというのがあります。

- 箇条書き1、イタリックは赤字にならない、**強調箇所は赤字**になる
 - 小項目1、pre: カギカッコで括る代わりに利用 (*1)

*1 footnote: 注釈を書くために利用

	列A（左寄せ）	列B（センタリング）	列C（右寄せ）
行1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
行2	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX

> このページは <!-- _class: FYR --> です

END